

# 大館の歴史散歩

## 遺跡と遺物

### 遺跡と遺物を訪ねて

近年、国内では考古学上の大発見が相次ぎ、数十万年前から現代につながる先人の営みが、次々と明らかにされている。大館地方においても、ここ数十年間に発見・確認された考古学資料には目を見張るものがあり、先人の営みが明らかにされつつあるとともに、新たな問題も提起されている。

そこで今年度の「大館の歴史散歩」では、これまで発掘調査・研究によって知ることのできた大館地方における先史・歴史時代の遺跡・遺物を通して、この地につきかりと足を踏まえ、営々と築き上げてきた先人の足跡をたずねてみたいと考える。一年間という限り

はあるが、市民の皆様を知っていただきたい遺物を、でき得るかぎり紹介してみたい。

今年には新年早々、松木の藤垣貞一さんによって発見された五つの石器が、旧石器時代のナイフ形石器であると判明して、大館地方の歴史は、一躍、一万三千年から二万三千年ほど前に遡ることが確認された。

十数年ほど前までは福館・橋桁野遺跡や餅田遺跡などの発掘調査によって、およそ六千年ほど前の縄文時代前期前期葉期が、大館地方で確認された最も古い先人の足跡であった。事実、昭和五十四年三月に刊行された「大館市史」第

一卷には、「大館地方から、旧石器文化遺跡はまだ発見されていない。(中略)、土器を使いはじめた頃の、大館地方の文化は、今後の調査研究によって明らかにされることとなる。」と記している。

「大館市史」第一巻が発刊された昭和五十四年の夏、米代川北線バイパス工事に係る発掘調査によって、十二所軽井沢の蔦ヶ長根IV遺跡から、およそ八千年前の縄文時代早期中葉の貝殻文系土器と石器群が発見された。そして本年は、まだ土器を作ることを知らなかった、石器を主な道具としていた「万」を単位に遡る時代の遺物が確認されたのである。

このシリーズを続ける一年間に、あるいはまた新たな資料が得られるかも知れない。  
(市役所・史跡探訪会)

## 行政なんでも相談室

行政110番

〈問〉町内には、市から委嘱されている「行政協力員」や「民生委員」、「温泉審議委員」などがいるようですが、だれが人選し、どんな仕事をしているのでしょうか。  
(長木・藤原)

### お答えします

国や県それに市では、行政を円滑に進めるとともに、市民の皆さんのご意見、ご要望を行政に反映させるため法律や条例などに基づき、市民の方に各種委員をお願いしています。お尋ねの行政協力員、民生委員などの職務や委嘱方法は次のとおりです。

〈行政協力員〉  
▽委嘱の方法・町内会の会長や役員から推薦のあった方を市長が委嘱しています。ただし、町内会がないところでは、その区域の方たちの推薦で市長が委嘱します。任期は二年です。

▽職務・いろいろな調査や報告書、通知書などを配布したり、取りまとめたりすること。広報や県議会だより、市で発行するパンフレット類を配布すること。市政に関する苦情の取り次ぎをすることなど。

〈民生委員兼児童委員〉  
▽委嘱の方法・市の民生委員推薦会で選考した方を県に推薦し、さらに県知事が厚生大臣に推薦します。そして厚生大臣が委嘱します。任期は三年です。

▽職務・担当地区内を調査し、生活や病氣などにより保護を要する方を適切に保護指導すること。社

会福祉施設や福祉事務所などと連絡をとりながら、その仕事に協力すること。各種募金活動に協力することなどです。

〈温泉審議委員〉  
▽委嘱の方法・市議会から推薦された議員や、温泉の使用権利者、学識経験者などの中から市長が委嘱します。任期は二年。

▽職務・市長の諮問に応じて、温泉の保護管理や温泉源の開発などについて調査、審議をして答申すること。

〈各種運営委員〉  
公民館や青少年ホーム、保健センター、市民文化会館、図書館など、その施設の円滑な運営を図るため市長や教育委員会が運営委員(名称はそれぞれ違う)を委嘱しています。

「行政なんでも相談室」では、行政や社会問題、身の回りの出来ごとなどについての疑問やご意見を募集しています。投稿される方は、ハガキか手紙(電話でも可)に住所、氏名(匿名を希望する方はその旨)を明記の上、広報係までお寄せください。

宛先・大館市宇中城20番地  
市役所総務課秘書広報係

## 私の本棚

中央図書館新着図書

### 一般図書

#### 「真贋の構図」

もりたなるお著  
(文芸春秋社)

高名な画家の遺作に、当時あるはずのない西洋タンポポが描かれている。画家の単なるミスなのか、それとも絵がニセ物なのか。真贋を巡る人々の心理がおもしろい。この表題作のほか、四編を収めたミステリー短編集。

◇異聞岩倉使節団(古川薫著) ◇変体少女文字の研究(山根一真著) ◇口唇論(松浦寿輝著) ◇カタリ鴉(青野聰著) ◇日本の中の外国人(神奈川新聞社会部著) ◇アテナウアーと吉田茂(大嶽秀夫著) ◇写楽道行(フランキー堺著) ◇望遠鏡から見た世界(河合雅雄著) ◇メルヘンの旅(小出正吾著) ◇テレビ事始(高柳健次郎著) ◇スイス領事の見た幕末日本(ルドルフ・リンダウ著) ◇につぼん味の職人物語(小菅桂子著) ほか

### 児童書

◇あかいボールのぼうけん(イブ・スパン・オルセン著) ◇図解みんなの産業シリーズ(市川健夫著) ◇ひとりぼっちのさいしゅうれっしや(いわむらかずお著) ◇おとなになれなかった弟たち(米倉齊加年著) ◇つばきの花のおよめさん(末吉暁子著) ほか

### 4、5月の中央図書館休館日

4月20、24、29日、5月3、5、18、22日

